

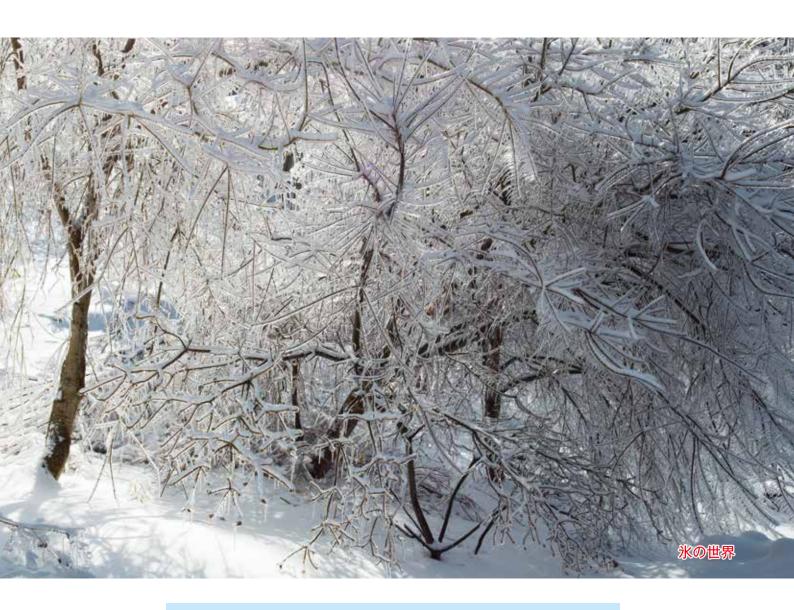
所報 あきた 116号

平成29年1月25日発行

発行所 曹洞宗秋田県宗務所 発行責任者 越姓玄悦 〒010-0812秋田市泉三嶽根15-18 TEL(018)868-6871

F A X (018)868 – 6872 http://soto-akita.com info@soto-akita.com

題字 能代市倫勝寺 山田晃一 写真 長野県養泰寺 内藤真彦



恭賀新年

旧年中は何かとご法愛を賜りまして

誠にありがとうございました

本年も決意を新たに職員一同

業務遂行、教化活動に邁進してまいります 何卒倍旧のご厚情の程宜しくお願い申し上げます

秋田県宗務所役職員一同 九拝

第 48 回 秋田県宗務所 檀信徒本山研修会

於:大本山總持寺 平成28年10月19日



現 職 研 修 会 於: 歓喜寺 平成 28 年 9 月 13 日 ~ 14 日



たいと思います。

昨年末から年明けにかけ、

今

寺院様

の御法体堅固と福寿無量

なるよう念願し、

併せて県内御

を御祈念申しあげ、

年頭

の挨拶

曹洞宗秋田県宗務所

所長

越こ

姓じ

玄

悦

たが、 戦してみました。これまで布教 でも集客の望める場所での の獲得と広報も兼ね、 きましたが、 多数の方々が熱心に受講されて て開催致しました。これまでも リアなかいち」 曜日の午後、 ターを会場に平日での開催でし 部の仏教講座は宗務所 ますようお願い申しあげます。 すので、 職務に精励する所存でございま すとともに、 過なく事業を進めることができ 様の御理解と御協力を頂き、 しあげます。 昨年はささやかではあります 新春を寿ぎ謹 いくつかの新しい試みに挑 第一回目を七月の第一土 いており、 変わらぬ御法愛を賜り 心から御礼申しあげま 本年も役職員 長期的には漸減傾 昨年は県内御寺院 秋 の施設を利用し 田市中通の「エ んでお慶びを申 新しい受講者 秋田市内 禅セン 開催 一同 大 8 感を持ちながら事業の充実に努

号 研修部、 く存じますが、 めました。成果については、前いただく機会を増やす試みも始 ことを考えています。 のは驚きでした。本年も布教部、 いたという声が意外に多かった ンケート報告を御覧いただきた 時間を組み込み、梅花に触れて 研修部の事業に梅花流詠讃歌の つの方途として、 に足を運んでいただくための一 禅センターに一人でも多くの方 れた方もいらっしゃいました。 した。 方々も多数来場していただきま 者に加え、 としました。 うつつ、 (一一五号) 掲載の布教部ア 新たに受講申し込みをさ 禅センターとして一体 梅花部の独自性を尊重 初めての参加となる 当日 梅花を初めて聞 継続していく は 従来の受講 布教部、

よる、 す。 善護助の叡智により、 消滅」に 衝撃的でしたが、 滅の可能性があるという報告は 歩を踏み出すことができる年に を乗り越えてきました。善知識、 なければなりません。私達の先 な手立てがないとしても、 指摘されています。 四〇%が消滅の可能性があると はないにしても、 化が確実に進行していくと思わ です。県内では人口減少と高齢 表現されることが多かったよう 人は長い歴史の中で幾多の難題 に至らない方策を模索していか 口減少、過疎化や高齢化に有効 大な影響のあることは自明 れます。 透明感や不確実性という言葉で 想が披瀝され 年 大潟村以外の 昨年発刊された「寺院 日本創成会議の試算に 展望に よれば、 ましたが、 うい 寺院運営に多 消滅すること 宗門寺院 直接的に人 市町 て様 新しい一 行村は消 が々な予 消滅 0) で

鳥の高く飛ばんとするや

宗議会議員佐々木正悦

新年明けましておめでとうごお迎えのこととお慶び申し上げかれましても心安らかな新年をかれましても心安らかな新年をお迎えることが出来ました。皆々様におお迎えのこととお慶び申し上げお迎えのこととおりでとうごます。

るのか、見ものであります。衆す。小池知事がどこまで頑張れ 各県の知事はじめ市町村の首 動き出します。そしてトランプ たイギリスがいよいよ右向きに す。世界ではEU主要国の首長議院解散総選挙も囁かれていま といわれる都議会選挙もありま しであります。日本のダイナモ りません。先ず今年は選挙の年、 て穏やかな年にはなれそうもあ 俯瞰してみると先行きは、決し ありますが、足元から世界まで 大統領、オバマ政策とは真逆の 穏やかで平安に迎えた新年で 市議会議員の選挙と目白押 またすでにEUを離脱し トランプ氏

価が上がったり下がったり。アメリカがくしゃみをすると世界が風邪を引くといわれるほどアメリカの力は偉大であり、影響力大であります。長年が一転して自国第一主義に方向が一転して自国第一主義に方向を特別しました。その動きは本格での価値観がぐちゃぐちゃにをまれるのか、己の信念信条なのか、そんないけない」と語っていましたが、軸とは経済優先の政策なのか、己の信念信条なのか。そんなましたが、軸とは経済優先の政策なのか、己の信念信条なのか。と信主はいけない」と語っていましたが、軸とは経済優先の政策なのか、己の信念信条なのか。と信してはいけない」と語っていましたが、軸とは経済優先の政策なのか、己の信念信条なのか。と信主はいけない」と語っています。

が、葬祭の多様化による檀信徒りますよう願っているのですはどうだろうか。平穏な年であさて、目を転じて私達の宗門

せん。秋田県の人口は間もなく況に置かれていることは否めま教教団がそれぞれ厳しい社会状題であります。宗門に限らず仏 問題、過 する難問を引きずりながら新年階査定のあり方などなど、山積問題の決着は、新たに迎える級 像を冷静に分析しなければなら団として、進むべき道を、将来 団として、進むべき道を、将来りと見据え、宗門として伝統教 界の情勢、日本の情勢をしっか 間違いなく変動するであろう世 百万人を割ろうとしています。 存在する寺院の存亡は喫緊の課 を迎えました。特に過疎地域に ない年と思っています。 後継者不足の問 僧堂改革、僧堂振興、疎地寺院の運営に関 \Box 少による 多々良版興の施

最後に今年の干支に因み、二 写尊徳翁の言葉を引用し、今年 「鳥の高く飛ばんとするや、 「鳥の高く飛ばんとするや、 人の大事に当たらんとするや、 人の大事に当たらんとするや、



全の宗門に内在する問題点 示議会議員 深

Ш

典

雄

心から祈念申し上げる次第でありま上げ、被災地域の一日も早い復興を門の隆昌と安寧を心からご祈念申し門の隆昌と安寧を心からご祈念申し平成二十九年の年頭に当たり、寺

いて様々な問題が惹起し未だ解決をその破綻後約十年余の間宗門内にお ろであります。 とはご承知のことと拝察されるとこ みることなく現在も進行中であるこ 十七年十月民事再生申し立てをし、旧学校法人多々良学園が、平成

せて頂くならば、 のかれほどの情報の開示をしていた方―学園理事に対し理事長はど方―学園理事に対し理事長はど これらの問題点を具体的に列記さ

から訴えられたのかという疑問を了じた後、何故宗門が銀行団へ、学園側が民事再生法の手続き 銭請求・催告書を持っての請求と道義的責任等を理由とする金 後の法的義務に基づく金銭請求、曹洞宗が行っている訴訟終結 集し議論の構築を諮らなかった かという疑問 問題—何故、 銀行団に宗門会計から 臨時宗議会を招 (議会軽視)

> ・億円に対し何も議論をせず(出をした解決金(和解金) その責任を看過しているの

宗の運営の改善に役立てようとその問題点を糧とし将来の曹洞へ、多々良問題を精査した結果、 する議論の少なさ

の寄付行為を無視してまでそのにおいて、何故、宗門関係学校六、曹洞宗執行権者並びに会派内 事の地位を一方的に剥奪しよ

あります。次へと問題が生じているのが現状でなど、枚挙にいとまがない程次から

であります。 視した運営をなしているということ いて制定されている規則等を全く無 所謂、宗憲を始めとする宗門にお していないこと。

う一つの問題がたとえ解決された

いの曹

うとするのか 理

において所定されている規定を遵守(内局員)が曹洞宗という一大組織のは曹洞宗の中枢にいる執行権者いずれの問題も、その根底にある

『洞宗という組織においては、宗門残念なことではありますが、今の 負の事象である『多々良問題』と

> り返されないと断言ができるようなからといって、向後同種の事案が繰 あります。 としての法令遵守という意識に基く する意識が完全に欠落しているので 適正且つ適法な執行行為をしようと 状況にはなく、その根底にある問 題

て執行するという行為は基本中の基本来、規則で定める規定を遵守しい状況にあるのであります。 り得る環境にあると言わざるを得な 、次から次へと同種の問題が起ここのことが等閑にされている限

うになったのかと言えば、リスクのンスの問題が社会的に議論されるよ現今において、何故コンプライア な企業経営を実現し企業の価値を高統制を充実させることによって健全 める、という考えが国際的に広がっ たからであります。このことが国際 本であります。

危機なのではないかと考えざるを得進行中の宗門の組織運営上の最大の しかし、現在の曹洞宗の組織は社社会全般の要請であります。 繰り広げているのであります。 ない昨今であります。 して意識されていないことが、 会通念とまるっきり正反対の運営を このことを、曹洞宗全体の危機と 現在

隆昌を祈念申し上げ擱筆させて頂 よう御願い申し上げ、更に管内寺院今後共、御慈援ご指導を賜ります 老宗師の御法体堅固並びに山門の御

木正悦宗議会議員老師より受彰され

成28年度曹洞宗秋 七 ン タ 創立記念集会 田県宗務所

開催された。 田キャッスルホテルを会場に盛大に 創立記念集会が、十一月十六日、秋 この度、秋田県宗務所・禅センター

聴衆が熱心に講演に耳を傾けてい 題して開催された。二五〇名以上の 住職)をお迎えし「魂のゆくえ」と 山院代・南直哉老師 時より禅センター研修部が企画し た。「禅を聞く会」が、青森県、恐 当日は記念集会に先立ち、午後二 (福井県霊泉寺

方々への彰状の授与が行われ、受彰 られ、七○歳、六○歳を迎えられた として長年に亘り住職を補佐してこ 係各位多数御臨席のもと午後四時よ 年勤続表彰受彰者をはじめとし、 べられた。その後、満勝寺住職、佐々 された方々を代表して、 た諸老師の紹介と彰状の授与、寺族 水年勤続五〇年、三〇年表彰を受け の創立記念集会が行われた。 越姓玄悦所長の挨拶に続き、住職 講演終了後は会場を移し、住職永 奥山芳寿老師が謝辞を述 第十教区净 関

> て 嵯峨宗一所会議長の乾杯の発声に 会議員老師より御祝辞をいただき、 をし、満勝寺住職、 表して斎藤昭道副所長が開式の挨拶 五時より祝賀会に移り、主催者を代 た方々へ御祝辞が述べられた。 記念式典終了後会場を移し、午後 、和やかな祝賀会の開幕となった。 佐々木正悦宗議

集会参加者を少しでも増やしていけ でという試みで開催してみた。 となった。今年は特に、集会は一つ スルホテルで、会場を変えての開催 たらと思う。 の会場として、後の懇親会は別会場 の『禅を聞く会』の後、 応の成果を収め、今後に繋げて、 結果、集会のみの参加者が増えて、 今年度の記念集会は、 同じキャッ 研修部企画

思う。 進めて参りたい思う。 ことも、宗侶、寺族さんの集会への 参加率を高めたこととして大きいと また、『禅を聞く会』を併催した 事業の更なる効率化、 試行錯誤を重ねなが 充実化を

5,

表彰対象者芳名簿

住職50年表彰

第10教区 第6教区 浄福寺 龍昌院 奥山 小田 出島道雄 芳寿

住職30年表彰

第3教区 第5教区 第5教区 東林寺 信翁院 順覚

第6教区 第7教区 普洞院 長泉寺 長谷寺 宮越 戸沢 秀悦 靖文 広樹

第14教区 第18教区 萬照寺 龍泉寺 信悦

> 寺族表彰 第2教区

第10教区 浄福寺 奥山リツ子

松樹院

Щ

島

タツ

百

第18教区 第12教区 第9教区 第16教区 松雲寺 高岳寺 倫勝寺 中村 伊藤かおる 田 光子 雅子

第18教区 特別表彰者並びに出席者) 源守院 養牛寺 藤原久仁子 智子



越姓玄悦宗務所長挨拶



受彰者を代表して奥山芳寿老師の謝辞

平成28年度曹州宗教田景宗新現職研修会

南直哉老師

収縮社会における 僧侶の在り方

第一教区 東光寺副住職

ŋ

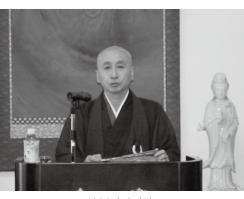
鈴 木 慶道

霊泉寺住職南直哉老師を迎え、 喜寺様において現職研修会が厳修さ れました。第一日目の講師は福井県 残暑もようやく和らいだ九月一三 四日の両日を通し、秋田市歓 以前

そのためには特に私たち四○歳以下 びました。情報化社会の発展により 時代の変革に対して曹洞宗教団や僧 いと痛感致しました。 責任を持って精進しなければならな の僧侶が深い求道心を持ち、 を教化してゆく必要性があります。 人が真摯に仏教に向き合い、檀信徒 個人主義が強まる中で、僧侶一人一 応できない様々な問題が生じると学 加者や団体旅行の減少が例に挙げら 経済が収縮してゆく中で、受戒会参 れる南老師。 侶に課された命題と対応策を提示さ 既存のマクロ的な考え方では対 日本全体として人口と

た。 読する機会にも恵まれたこともあ より 使われない老師の講義が始まりまし き、大広間にも関わらず、マイクを した。幸運にも前列に座ることがで なに生きにくいのか」等の著書を拝 受講前から心待ちにしておりま `老師の「語る禅僧」 「なぜこん

「受戒の現代的問題性」と題し、



前川睦生老師

檀徒の方に伝える方法と、一僧侶と きました。実際に受講者同音で発声 ることが求められると再認識致しま して常に教化の機会を意識し行動す にお話し頂き、只管打坐のみ教えを 子宗元老師からは「坐禅会」を主題 な機会でありました。長禅寺住職金 し、体系的に理解を深められる貴重 すく声明独特の節を解説していただ の講義では、浅学の私にもわかりや 同日程の總持寺後堂前川睦生老師

されました。秋田県がこれからの収 わる七項目で全国随一であると報告 が出生率や未婚率など人口減少に関 年の人口動態統計において、 縮社会のモデルケースとなっていく 厚生労働省の発表では、二〇一五 秋田県

> すが、僧侶として生きる一日 の変革に対応していく使命がありま 侶が進んで研鑽の機会を求め、 予想されます。 や寺院に求めることも多様化すると を鼓舞してゆきたいと思います。 常に修行の場であると自覚し、 勉強の機会であることはもちろんで す。今回の現職研修会が一期一会の 中で、寺院の存続や、 そのためには若い僧 檀信徒が僧 日 自 時代

大いなる暗中模索

第一教区 勝平寺副住職 髙栁 龍哉

ました。 今までとはひと味ちがった感じが 平成二十八年度の現職研修会は、

代的問題性~現代における宗門の根 うに感じました。以前、 索の必要性」を投げかけてくれたよ 私には僧侶として「生きるための模 表現で切り込んでくれたことです。 会に対して、 い不安」を抱かざるを得ない現代社 老師を講師にお迎えして「受戒の現 本問題」と題して、誰もが 私の心に強く残ったのは、 かなり率直に個性的な 南老師の著 見えなな 南直

るならば、やはり私たち現代を生き 様のおっしゃられた末法であるとす を感じました。もし現代が、お釈迦 現は伺い知っていたつもりでした 書を読んでいたので、その個性的 感じました。 現実と向き合う覚悟が必要だと強く る僧侶の役割と責任は大きく、この を切実に伝えたいという老師の思い はもっと厳しいものがあって、それ 方や音調、力強い表現力」を体験し て、著書に書かれているより、 実際に目の当たりに見て「話し 現実

高齢化社会の中にあって、開かれた きる会」という会を立ち上げました、 上げたそうです。 寺院を目指して、ということで立ち 昨年から師匠が師寮寺に「今を生 これも「見えない

金子宗元老師

す。 対して「おまえ達、もっと頑張れ 齢は五十八歳、ご自身の世代ではな ました「これからは四十代以下の世 の思いも伝わってくる様な気がしま 講師の一人に選ばれた宗務所諸老師 て、寺院の運営がままならない現実 るかもしれないという秋田県におい よ!」と激励の声に聞こえました。 く四十代以下の、いわゆる青年僧に に深く残った言葉です。 代の働きが大切になる」と、 不安」との取り組みなの に直面している今、 人口減日本一、そして将来消滅す !老師はこうもおっしゃっており 今回の南老師を 老師のご年 私の頭

このような研鑽の機会を与えて下 さった宗務所諸老師に感謝を申し上 ますが、頑張ってみようと思います。 とっては、大いなる暗中模索となり この種の問題が気になっていた私に たちにとって刺激であり、以前から 方について模索されている姿が、私 はちがえど、これからの仏教のあり 川老師、金子老師、 最後に、私の駄文をお許し頂き、 研修会全般を通して、 有り難うございました。 それぞれに表現 南老師、 前

本 山 研修旅日

大館市瑠璃光山宝泉寺護持会長 松江

則

ました。 修があるので一緒にいかがですかと さんから、十月下旬頃に宗務所の研 お誘いをいただき参加することにし たところ、近くの養牛寺の藤原住職 山總持寺に一度は行きたいと思って になって二十年が過ぎますが、大本 お寺に総代として関わり合うよう

夕刻には無事大本山總持寺に到着、 も修行のひとつと思い出発、そして 朝四時出発との事にビックリ、これ 翌日は四時半の起床に始まり、 法話、坐禅、 さっそく研修に入りました。 開講式に始まり、人権学習、 出発の一 諸堂拝観、 団参供養、 週間前に行程表が届き、 布団作務、入浴、 小食、 御開山拝登、 そして閉講 開枕、 薬石、 記念 布団

> 思いで總持寺をあとにしました。 常生活の全てが修行と思われ、 ぞれに感謝を忘れずにと教えられた 食事はもとより顔を洗うことや風 ました。坐禅や読経だけでは トイレ、 更には眠ることまで日 それ

ちより、商店街を散策、塩大福を食 り八時すぎまでの約四時間、 伎の観賞です。 鴨の、とげぬき地蔵(高岸寺) ばあちゃんの原宿といわれている巣 中での地ビールは特においしか せ、日の出桟橋から浅草に向う舟 院長谷寺の麻布大観音に手をあわ 演目よりも女性の多さにビックリし 直行、本日のメインイベント、 し、赤いパンツを買い求めホテルに た。浅草寺の近くでの昼食後は、 鶴見を後に都内に入り、永平寺別 夜の部四時半に始ま に立 お 0 0

んおつかれさんでした。お土産はだ で有名な達磨寺、石段の多さに皆さ 三日目は、世界遺産の富岡製糸場 衣観音、 「高崎のだるま市

式に終了証をいただき、下山となり

るま工場でのお買いもの。それぞれ の宿伊香保温泉へ。大宴会は食べき だるまを選び今夜 永平寺東京別院

の思いを込める、

界になるよう……。合掌 このことばを考えさせられました。 れない料理と多彩な芸で大盛況でし ることが健康で感謝の心を持った世 政治も経済も、すべて生活にかかわ 今回の旅で改めて「健康と感謝」、 紅葉と滝めぐりの後、一路各地へ。 最終日は、奥日光から中禅寺湖へ、

しております。 健康でお会い出来る日を楽しみに致 そして参加された皆さんに感謝し又 終りに、今回の旅を企画、 実施、

ありがとうございました。

少々疲れました。 あまりにも盛りだくさんの行 程で

松尾山玉林寺檀信徒

江橋

正俊

仙北市西木町

總持寺本山

研修会に参加して

県宗務所第四十八回檀信徒研修会に四日の日程で行われた、曹洞宗秋田 た 縁あって参加させていただきまし 成二十八年十月十八日から三泊

ŋ 普段の生活における人とのつなが の気持ちをもつ大事さを痛感しまし えさせられる思いでありました。 た。その後の法話、 めて、作る際に携わった皆様に感謝 共に食事訓を唱和し頂きました。普 石を頂く前に雲水の掛け声で、皆と 石を頂きながらの開講式でした。薬 大本山總持寺では諸事情により薬 気にせず食事をしていたが、改 さらには、 助け合いの精神、 人権学習では、 考

執り行われ、待っている時間は僅か を運び終えると、再び法要が始まり、 入場し法要が始まり若き雲水が教本 ぬ張り詰めた空気であった。導師が の如く、背筋が伸び、 だが、非常に緊張感があり、弓の弦 大祖堂で、 清々しく、爽やかな心地で目覚め、 いかと思っていましたが、非常に 翌日の未明に起床し眠気が覚めな 団参供養・朝課の法要が 何とも言われ

> せ、 肌身で感じた。法要の最中に、縁あっ と想像しがたい音になり、 一人での声は小さいが大人数になる 祖母の戒名を読み込みしていた 一つの物事を成す素晴らしさを 力を合わ

> > 更によ 基本

あると感じました。 た。後で聞いた話ですが、大声を出 の説明を受け、坐禅を組み、一通り 齢を重ねてもあらゆる行いが修行で して教本を読む修行があると聞き、 の行事を終わらせる事ができまし 景にただただ驚くのみでした。坐禅 その後、諸堂を拝観し、 伽藍、 風

と伺い、坐禅や読経だけが修行でな りました。 てにおいて修行であると深く思い知 の教えが最も具現された場所である ある長谷寺に、立ち寄り、お釈迦様 總持寺での研修後は永平寺別院で 洗面から眠るまで日常生活の全



富岡製糸場

現在の労働時間や労働に冠する規則 とでは全く違い、深く感銘しました。 寄り、写真で見るのと実際に見るの かったと今でも思っています。 の内容を学習しておけば、 があれば演題はもちろんの事、 伎を観劇しました。次回観劇の機会 たのもうなずけました。 など日本の近代化はここから始まっ この日の夜は古典芸能である歌 世界遺産である富岡製糸場に立ち

げました。 伎の口調になり宴会を大いに盛り上 伎の観劇の影響なのか話し方が歌舞 と、共に宴会を楽しみ、今までの研 は司会進行役や挨拶をした人が歌舞 修の思い出話に花を咲かせ、ここで 最終日の夜は、伊香保温泉で皆様

本山研修会が末永く続く事をお祈り わった皆様、 致します。また、参加させていただ に感謝申し上げる次第にございま このような素晴らしい実りのある 曹洞宗秋田県宗務所の皆様はじ 本山研修会の企画や運営に携 更には、出会えた皆様

ございました。 お世話になり、 本当にありがとう

髙橋さんは「差別戒名、部落差別

ました。とても心に残りましたのではいま」と題して、自分史を話され

こ紹介致します。

初日は、地元で人権擁護の活動をて開催され、参加してきました。県上田市(上田市・佐久市)におい県上田市(上田市・佐久市)においいるが長野でのでは、地元の日間で、地元の日間で、地元の日間で、地元の日間で

基に解説をして下さいました。と題して、差別戒名に関して資料を深井さんは「歴史は問いかける」さんの講演がありました。

> そうです。 自分の出身を隠し通すことにしまし としましたが、声になりませんでし の日だけは学校を休むようになった 以降、学校で部落学習があると、そ 分に言い聞かせました。」でもそれ だ。そっとしておこうよ。』そう自 てしまうんだ。知らない方が良いん するな。知るから余計に人を差別し た。『同じ人間だ。そんなこと気に ずなのに…。それ以来、高校3年間、 た。つい先日、やっと安心できたは 『ふざける』と思って、言い返そう 口を言っているのが聞こえました。 でもなあ、やっぱりあいつらガラが いし、貧乏だし、…』いろんな悪

と問われ、さらに「お前、差別を無と問われ、さらに「お前、差別を無いっている。本当の自分を良く知ってる。でも本当の自分を良く知ってる。でも本当の自分をときに部落解放の先輩から「お前るときに部落解放の先輩から、いやなことは、「自分が何に怯えているの氏は、「自分が何に怯えているの氏は、「自分が何に怯えているの

悪いか分からないけど、 がむしゃらに取り組みました。 中に入り、特に若者達を訪ねて話し、 らに突き進み、とにかく毎日部落の だ。」と言い返したことがあったそ 考えるのもいやなことがそれなん た。」と話されました。 分が保てないように思えて、 しないと誤魔化して過ごしてきた自 らしなさを忘れたいが為に、ひたす す。それから「いままでの自分のだ やってみよう。」と決意したそうで 考えていることで、一番いやな事を 出会って、考え抜いて「今、 うです。それから本当に色々な事に くす運動に入ってみない れた時に「ふざける。 かと、 自分が今、 必死でし 良いか 自分が 。そう 誘

会った瞬間に、二人の体と心がボロに二人と面談されたそうです。出 件でした。被差別部落出身の女性か 断されたそうです。 す。氏は、かなり年数をかけて、 ボロになっていると感じたそうで 娠中です。」との内容でした。早々 から、この子達には時間がないと判 家から結婚を反対されています。 せられ「部落出身の為に、彼氏の実 ら「教えて下さい」とのメールが寄 れました。それは「結婚差別」 次に氏は、 ケースの人たちと出会ってきた事 係わってきた事を話さ 一の案 ح 妊

> うに」と努めてきたことを時間をか えてくれたそうです。 なくて。」正直に、丁寧に事実を教 とも考えたけど、でもどうして出 で階段から飛び降りて、 うな思いをしたらどうしよう。 けて話してくれたそうです。 の人に部落の事を知られないよう ども達をひたすら懸命育てて「回 と一緒に家を飛び出て、それ以降子 婚するときに反対されて、お父さん 学5年生だったとのこと。 とを知ったか尋ねたら、 性に、いつ被差別部落出身であるこ 伝えてくれたとの事。 で良いかどうか必死に悩んだことも で、あなたを妊娠したときに、 に、社会から後ろ指をさされないよ お母さんは被差別部落の出身で、結 具体的な行動を提案する前に、 お母さんから聞いたそうです。 育の時間を家で話したとき 「私と同じよ 氏と同じ小 流産しよう その中 産ん 悩 来

だ。このまま部落の人間と一緒になお、このまま部落の人間と一緒になける。その折、男性の家族から、どうす。その折、男性の家族から、どうす。その折、男性の家族から、どうけートを親の「いいつけ」をもってとを話されました。男性の家族から、どうは、二人に差別され誹謗される氏は、二人に差別され誹謗される

を合わせたこの金額を支払え、これを合わせたこの金額を支払え、これを合わせたこの金額を支払え、これたとの事。請求書が届けられた現実たとの事。請求書が届けられた現実に積極的になぜ差別をする側になれに積極的になぜ差別をする側になれく出来るのものなのか。」氏は驚るのであれば、お前を育て上げた養るのであれば、お前を育て上げた養

うです。「なんて素敵な人なのだろ ら涙がテーブルを沢山落ち、そして とを黙って聞いていました。 り面会した時の事も教えてくれまし とを二人にも、 う。『差別と向き合って生きる』こ た。」氏も、 達は俺が守るから』と言われまし てから『どんな事があっても、お前 の話が終わり、しばらく時間が経っ 父さんの心は絶えられるのだろう され、家を出た時と同じ苦しみが、 伝えてきたつもりでした。『差別を 大きな声で泣き出されました。二人 か。心配で二人と一緒に会う機会を 自分の娘にも繰り返されている。お た。「自分たちが結婚する時に反対 作って貰いました。その時、 んは、娘達が話す今まで起こったこ 女性のお父さんが心配にな 許してはいけないことなん 涙が止まらなかったそ かなり言葉を選び お父さ 途中か

話されました。
話されました。
「言葉は簡単です。でも『許さないとはどういうことか。どういうないとは難しいことです。でも、おとうさんが示してくれたと思も、おとうさんが示してくれたと思も、おとうさんが示してくれたと思も、おとうさんが示してくれたと思います。」言葉は簡単です。でも『許さだ。』言葉は簡単です。でも『許さ

翌日は、初日に講演された深井さ









諷経中も切なく、読経焼香させて頂 足で伝えきれない自分の力量不足を きました。人の尊厳・人権は冒涜し こんな切ない戒名を授けたのか…。」 る墓所にお参りしました。十数段に 御座います。」と言って下さいまし る方々も喜んでいる。ありがとう 悔の気持ちを込めて供養諷経をしま に移動されるとのことでいした。 得ることができれば、改正し、 正の墓石が数基残っており、 の墓石がほとんどですが、一 てならないものだと痛感しました。 われているようでもあり、ここでの 深井さんの呟きが、自分の諸行を問 もさんの墓石もあり「どんな心情で、 並ぶ沢山の墓石が集められていまし ている墓石が集められ供養されてい た。申し訳ないような切ない気持ち した。深井さんが「きっと眠ってい 正の墓石を集めて供養している場所 を報告させて頂きましたが、言葉不 た。正直、現実に驚きました。子ど になりました。次に長福寺様に移動 この研修は、心から離れない2点 改正前の「差別戒名」が刻まれ 部未改

の問題にどう向き合うのか、私達の侶として、一人の人間として、差別問した時に、佐藤良裕管区長が「僧問した時に、佐藤良裕管区長が「僧」

恥じるばかりです。

してまいりたいと思います。

人権擁護推進主事

佐藤徳祐

「禅を聞く会

禅センター研修部

こと、周囲の人の幸せを守ることが さんと接する時、「一人ひとりの個 た。宗教者として、 の文章を書きながら思い出しまし 組もう。」と話されました事を、こ 進み。一人でできないこともあるが、 内なる差別意識をどう払拭するか問 擁護の中で実践したいと思います。 がっている。 沿って、思いやりの心を持って取り 共に手を取り、支え合いながら、宗 われている。一歩でも半歩でも前に 人の幸せは、 お釈迦様・道元様・瑩山様の教えに 侶としての力を発揮できるように、 **大切だ」と私は感じています。人権** 今後も研修を深め、皆様にお伝え 他者に幸せを奪わない 周囲の人の幸せと繋 幸せを求める皆

試みとして行いました。一般の来場 この度は、梅花部の協力を得、 会場は二百席用意致しました。また、 りの広告をさせて戴きましたが、一 は青森県恐山院代・南直哉老師に来 ゆる仏教講演会を十一月十六日(水) 試みで、県内の檀信徒はもとより広 評を得ることが出来ました。 者には初めて梅花を聴く方もいて好 前の三十分間梅花流のピーアールも るか、予想出来なく、とりあえず、 般を含めどれくらいの来場者数にな て頂きました。県内寺院始めそれな に企画開催致しました。今回の講師 てキャッスルホテルを会場に、いわ いう意味で「禅を聞く会」と銘打っ く一般にも禅、曹洞宗を普遍すると 今年度、 研修部としては初めての 講演

だった来場者数も二百五十人を超を飛び回って講演活動されてる方とを飛び回って講演活動されてる方という感想を多々頂きました。不安いのが感想を多々頂きました。一般のいが感想を多々頂きました。からはもう一度聴いてみたいという感想を多々頂きました。不安にも大変分かりやすいテンポのいが感想を多々頂きました。不安にいる方と

としては多数の反省点、課題を残し、の出来に終わりました。ただ企画側え、初めての試みとしては予想以上



恐山院代 南直哉老師



熱心に聞き入る聴衆

梅花奉詠のようす



指導する清水道広師

と思います。 ように更なる工夫を加えていきたい 今後この『禅を聞く会』が長く続く

教化主事 國安大智

禅センターコーナ

仏教講座

こころの風景

秋田市 佐々木昭司

車による旅で正平さんの息遣いも聞組の好きなところは①主として自転ろ旅」を時々見ております。この番火野正平さんの「日本縦断・ここ

南は九州・沖縄までですが田舎の風 なく、むしろ平凡であることです。 主要道路ではなく、 う心の琴線にふれるところがあって えてもお手紙の主には何か機縁と言 ころが他者の目にはたとい平凡に見 感じさせてくれます。 景はどこか皆似通っていて親しみを 日本縦断、文字通り北は北海道から 決して風光明媚な所や名所旧跡では 紙で見て欲しいと指定された場所が ともないような道であること、 の番組以外では見ることも訪れるこ 通りそうもなく、 えること、②通る道筋が観光道路や 旅行者にも再びこ 裏道やバスなど 行き着いたと 。 ③ 手

来りっぱになると信じて疑わない。 大供というものは純心でありますません。しかし、ここでは理屈も理由も何もない。唯無条件にそう思いこんでいるのです。信じているのです。坊っちゃん自身は「自分は立派す。坊っちゃん自身は「自分は立派す。坊っちゃん自身は「自分は立派す。坊っちゃん自身は「自分は立派す。坊っちゃんです。信じているのです。

カメラを持っていつも通る裏道や、植込み、小川の岸辺、路傍の草花など写真に撮って後で写真を見ると驚く程美しいなと思うことがよくと驚く程美しいなと思うことがよくとれて部分的な美しさは目に入らなかったのでしょう。一見して平凡に思える自然や風景、蜘蛛の糸のように細くて頼りない老婆の心などはギラギラした真夏の太陽と違って秋のラギラした真夏の太陽と違って秋のく包みこみ育ててくれているのではく包みこみ育ててくれているのではないでしょうか。

仏教にふれて

ています。しかし、このお清婆さん

内では乱暴者の悪太郎と爪弾きされメチャで両親兄弟には疎んぜられ町

気性だ」と誉めるのです。そして将だけは「あなたは真っ直ぐでよいご

思い出します。坊っちゃんはハチャ

中に出てくる、女中のお清婆さんをと私は夏目漱石の「坊っちゃん」のるのでしょう。この番組を見ているそれで長く忘れ得ぬ場所になってい

佐藤てる子

私が仏教を学びたいと思うように

式、法事の時と思っていた。仏閣も元々好きでしたが、お寺は葬なったのは梅花でした。梅花も神社

そんな自分がお寺に行く機会が増充るごとにお寺を囲んで立ち並ぶ木えるごとにお寺を囲んで立ち並ぶ木えるごとにお寺を囲んで立ち並ぶ木まるごとにお寺を囲んで立ち並ぶ木立の中に立つと、心が穏やかになり、花を唱えていると、その中で夢中で梅花を唱えていると、その中で夢中で梅花を唱えていると、その中で夢中で梅花を唱えていると、その中で夢中で梅花を唱えていると、ころから始めて「正法眼蔵」って何?ころから始めて「正法眼蔵」って何?ころから始めて「正法眼蔵」って何?ころから始めて「正法眼蔵」って何?ころから始めて「正法眼蔵」って何?ころから始めて「正法眼蔵」って何?ころから始めて「正法眼蔵」って何?本を唱えているといい。

り」と御詠歌にも…… ひとりとは 合掌「二十五哲の誉あ が様は、峨山禅師の門下二十五哲の 野外研修で最禅寺開山源翁心大和

せて頂きました。 に取り組んでみたい、そんな気にさ堂も素晴らしく、時間を忘れて坐禅堂も素晴らしく、時間を忘れて坐禅

を写しだしている様でした。いつかなったり、太くなったりと自分の心ど、初めての写経、心定まらず細く釈迦の教えが慈悲の実践である事な釈迦のでは、同事」私達をつなぐもの、講堂の中では、相手の気持ちにな

じています。

仏教に吸い込まれてしまいそうに感

かで聞いた事がある。「正法眼蔵」だ。 えない。確かに何か違う。でもどこ そく読んでみた。十代の少年とは思

十代の少年に後押しされ、ますます

た。又、最近十代の少年がネットで

なんだか心が楽になった気がし

つぶやいている事が本になり、さっ

もう一度挑戦

の一日でした。 を囲んでの和尚さんとの楽しい話に あたたかさを感じ、最後のテーブル のめざめ」と題しての福厳寺栗田大 「仏」とつながる優しさも感じ最高 し解り易く御指導いただき、 二和尚さんの親子の絆に心と目頭に 五分講座では 「同事」 趣向を凝 「仏心

易しく解説。しかし、 法眼蔵」を今の私達の生活に例え、 仏教思想家「ひろさちや」氏が「正 たが、ダメな人でもそのままでいい い。だから「今を一生懸命生きる んだよ。それを直そうとすれば迷い 先日、「一〇〇分匹名著」の中で 未来を見てもどうなるか解らな む。過去を振り返っても戻れな 実に難解でし

野 外 研 修

野外研修に参加して

手市 照井

研修に出発しました。 長さんが運転する車に乗って、 なった朝、上着と傘を持ち、 路樹が色づき始め、 急に寒く 布教部 野外

た。

の脇を通る道を進んだ山中にありま でした。最禅寺様は、その病院入口 病院が新設された時に見学した場所 目的地の湯沢市山田は、 雄勝中央



最禅寺様での参加者

優子

像が並ぶ開山堂と、古いお位牌が奥 深くまで並ぶ位牌堂が心に残りまし 見学しました。特に、歴代の大和尚 作の美しさに感動しました。 長さんを中心に、若い僧侶たちの所 般若心経をお唱えしました。 者一同、ご本尊の釈迦牟尼仏に合掌、 次いで、静寂に包まれた寺院内を 威厳に満ちた建物でした。 布教部 参加

様が丁寧に説明してくださいまし る名刹であることを知りました。 直末で、三十六門の一つに列せられ た。それにより、大本山總持寺のご 茶菓子をいただきながら、副住職

と、「競いの樅ノ木 を拝見しました。 夫婦関(左右の柱の太さが異なる門) また、 雨のため、 (樹齢二四〇年)」 車窓から 「山門

徒のご先祖様を守り、 を再認識しました。 接し、日本人の持つ山への畏敬の念 おられるご住職様とご家族の皆様に の中心に立つ最禅寺様、そして檀信 中腹に林立していたお墓の数々、そ 敬虔な気持ちになりますが、深山の むことができた時などは、自ずから せたり、旅の途中で富士山の姿を拝 我が家の窓から鳥海山に手を合わ 祈りを捧げて

> が聳えていました。 寺様を訪ねました。 四〇〇年を超える樅 からは、 平鹿町鍋 ノ木や銀杏の木 参道には樹齢 倉の 永蔵

明治二十九年に再建された本堂

めた荘厳さに圧倒されました。 朱塗りに整えられ、まさに華麗を極 大修理が加えられ、 七五一年の再建、 広大な土地に建立された本堂は、 柱と梁の全てが 昭和四十四年に

ちんと単が備えられていて、 山堂とともにある坐禅堂は、大本山 雑念を払い悟りを得ようとする修行 の坐禅が実践できる場所でした。 永平寺を模して造られたそうで、 の方法として坐禅がありますが、開 ある立派な造りでした。 た道元禅師像が安置され、 位牌堂は、 正面に四天王に囲まれ 禅宗には、 奥行きの 僧堂で き

律しながら学んだ厳しい修行の様子 を感じました。 副住職様のご説明を受け、 自己を

験させていただきました。 静かに自分の心を見つめる一時を体 て坐ることはできませんでしたが、 や腰に痛みのある私は、作法の則っ 子供たちも体験するという坐り方 五分間の坐禅を行じました。 参加者一同、実際に単に上がっ

らの薬師如来、 仏をはじめ、 永蔵寺様には、ご本尊の釈迦牟尼 創建時(天正以前)か 美しい姿の観世音菩

安寧の境地に導かれた心温まる旅と

また、本堂裏の廊下の窓越しには、 地域とともにあるお寺と言えましょ を担うお寺でもありました。まさに 境内を開放して開設されたという 自然と心の安らぎを覚えました。 いました。その庭園を眺めていると、 手入れの行き届いた庭園が広がって 薩像など、多くの仏像が安置され、 「下鍋倉保育所」があり、幼児教育 お寺の後ろには、昭和三十年から

とはありませんでした。勿論人並み

仏教というものを意識し親しんだこ

の仏事はしていたとしても。

心に余裕ができて趣味事を楽しんで

自身の、主人の両親共に見送り、

がとうございました。 ただきました。有意義な一日をあり ながら、貴重な時間を過ごさせてい 今回の野外研修では、仏道に接し

ぎる死に、たじろいでしまう自分が

ができず、

友の死や親戚のまだ早す

くことへの不確かさは拭い去ること る心の不安定さ、根源的な生きてい おりますが、ふつふつと湧き出てく

おりました。

教講座 「野外研修」に 参加して

味を確かなものを、

お釈迦様の教え

の必要性を強く感じ、生きていく意

そんな中、心の拠り所となるもの

藤原

最禅寺、永蔵寺の住職様のご案内の ることができましたことを心より感 兀、寺院内を観せて頂き歴史に触れ たが、心は仏様に見守られながら、 謝を申し上げます。 秋雨の肌寒い寺巡りではありまし 緒に旅をさせて頂きました事と、 この度は、宗教心の深い皆様とご



永蔵寺様での坐禅

せて頂いております。 中に学ぼうと、 仏教の入口に立た

なりました。

我が家の宗教は仏教でありなが 正直長い人生の中でこんなにも

だいております。 の計らいを感じる力を磨かせていた 心を澄ませて、目には見えないもの 摩訶般若心経、 写経、

添って今日があることに、今さらな 継がれてきた教えが、 内の光景や自然の移ろいと共に受け けではないという心強さを確認させ 中から、孤独から解放され、自分だ がら畏敬の念で一杯にさせていただ て頂き自身の気力に力を得て、 そしてこの旅での住職様の講話の

写仏、

人々により 寺院

きました。

うに訪れる病や体力気力の衰えに、 大きな救いになると信じておりま きっとこれからの老生、

当にありがとうございました。 職の皆々様、 ける教えに巡り会えていたことへの しております。 き、恵まれていることの幸を感謝致 気づきと、住職様の皆様にお導き頂 このような拙い自分を、支えて頂 野外研修を企画して頂きました住 エスコートして頂き本

平成 28 年度 第 3 回 布教師養成講座 ご案内

この講座は、布教師を目指し研鑽を積みたい方 や日常の檀務等の法話について学びたい方を対象 として行われております。

第3回めの今回は、特派布教師を長期に亘って 務めておられる、梅林寺住職・木村高寛老師をお 迎えし開催いたします。

そこで、せっかくの機会ですので、養成所受講 生だけでなく多くの皆さんにご参加いただきたく ご案内いたします。

開催日時 平成29年2月16日(木)

場 秋田県宗務所・禅センター

講 秋田県 梅林寺御住職 木村高寛老師

程 10:30~12:00 講義

昼食

13:30~15:00 凡例法話

※ご寺院様の参加申し込みは、別便にてお送りし たご案内に準じてお申し込みください。

秋田県宗務所ネット法話(ア

日面仏、月面仏

に成道会を修行しています。 に成道会を修行しています。 できました。そして毎年臘八接心を持ち回りで修行し、最終日を務めて下さって毎月一回、最近は三回の読み合わせ会を続けを務めて下さって毎月一回、最近は三回の読み合わせ会を続け、昭和六十二年のことでした。北秋田市七日市の龍泉寺佐藤は、昭和六十二年のことでした。北秋田市七日市の龍泉寺佐藤は、昭和六十二年のことでした。北秋田市七日市の龍泉寺佐藤は、昭和六十二年のことでした。

るなあと思います。家さん等の理解者です。私は、この三つの善知識に恵まれてい識、同行同修の友達ですね。第三に外護の善知識、家族やお檀す。第一に教授の善知識、つまり先生です。第二は同道の善知で、第一に教授の善知識、つまり先生です。第二は同道の善知でを成就するためには、三つの善知識が必要だと言われま

【本則】挙す。馬大師安らかならず。 この講本の中に「馬大師不安」という公案があります。います。先生の読み方は、私たちを正しく導いて下さいます。ら「碧巌録」です。この講本は、入矢義高先生の訳本を使ってら「碧巌録」です。この講本は、入矢義高先生の訳本を使って玄楼奥龍禅師五分録巻之九」二つには、「世説故事苑」それか玄巻奥龍禅師五分録巻之九」二つです。一つは、「蓮蔵海

院主問う、「和尚、近日尊候如何。」

「日面仏、月面仏。」

さんが「ご機嫌はいかがですか?」と聞くと、「日面仏、月面仏」【直訳】 馬大師が亡くなる前日のこと、寝ている老師に、監院という公案です。

とお答えになった。

松庵寺住職

渡

邊

紫

Щ

識を打出しました。世寿八十歳。
世の短いのでは、一八百歳の長寿の仏、月面仏は、一八百歳の長寿の仏、月面仏は、千八百歳の長寿の仏、月面仏は、一八百歳の長寿の仏、月面仏は、千八百歳の長寿の仏、月面仏は、一〇九年生まれ、大工の子、日一夜の短命な仏です。馬大師は、七〇九年生まれ、大工の子、日一後には、古の仏は、千八百歳の長寿の仏、月面仏は、一

えんや。明眼の衲僧も軽忽にすること莫れ。て苦辛し、君が為に幾たびか蒼龍の窟に下る。屈。述ぶるに堪て、日面仏、月面仏。五帝三皇、是れ何者ぞ。二十年来、曾

家得度しました。かぼちゃ和尚と呼ばれる師匠に出会ったその家得度しました。かぼちゃ和尚と呼ばれる師匠に出会ったその年間の苦心惨憺はさぞ大変だったことだろう。角を持つ男龍のこれをおろそかにせぬようによくよく噛みしめてくだされ。う。この無念さは口にも言えぬようだ。明眼を持つ修行者達よ、う。この無念さは口にも言えぬようだ。明眼を持つ修行者達よ、う。この無念さは口にも言えぬようだ。明眼を持つ修行者達よ、温を大きない。私は二十六歳の時、ご縁があって故郷のお寺で出てください。私は二十六歳の時、ご縁があって故郷の名を入れている。大師の二十名な天子や皇帝を吹っ飛ばすような勢いがあるぞ。大師の二十名な天子や皇帝を吹っ飛ばすような勢いがあるぞ。大師の二十名な天子や皇帝を吹っ飛ばすような勢いがあるぞ。大師の二十名な天子や皇帝を持つない。

という修行が続きました。 翌朝からの坐禅は足が痛くてたまりませんでしたが、 りませんでした。子供がよちよち歩きをしているのを補助する ただきます」というように、公案を与える坐禅のやり方ではあ 師です。 國寺という曹洞宗の専門僧堂でした。師匠の師匠は沢木興道老 た会社での厳しいノルマに追われる生活に比べたら、 した。大本山總持寺の修行生活でも「動もまた禅、坐もまた禅」 ような歩行器(公案)でもあればよいのにと思うこともありま はとても安らかな日々でした。そのお寺は、真田家の菩提寺長 に、自分で頭を剃ってお寺に置いてもらう許しを得ました。 曹洞宗の黙照禅を代表するような方です。 自分が自分を自分するのだ」「しっかり坐ってい 師匠の教え 精神的に 働いてい

をどうにかしなければなりません。一年間は全く歯が立たないが有効であったようです。老師から私が最初に頂いた公案にれが有効であったようです。老師から私が最初に頂いた公案は、「伊勢の海、千尋の底の一つ石、手も濡らさずに採るよしもがな」これが、なかなか判りません。もともと公案は、我々もがな」これが、なかなか判りません。もともと公案は、我々もがな」これが、なかなか判りません。もともと公案は、我々もがな」これが、なかなか判りません。もともと公案は、我々もがな」これが、なかなか判りません。もともと公案は、我々もがな」これが、なかなか判りません。そとでは公案が使われています。

門は三衣一鉢有れば足る。何ぞ民の利を奪わんや。」と応じまの松平公は喜んで大きなお寺を建てようと言いましたが、「沙後継を頼まれましたが断って飯山に帰ってきました。飯山城主は亡くなっていました。そのお寺が大きくなっていて、遺言では亡くなっていました。そのお寺が大きくなっていて、遺言では亡くなっていました。そのお寺が大きくなっていて、遺言では亡くなっていました。そのお寺が大きくなっていて、遺言では亡くなっていましたが断って飯山城で生まれ、十九歳の時参真田幸村の兄信之の息子です。飯山城で生まれ、十九歳の時参真田幸村の兄信之の息子です。飯山城で生まれ、十九歳の時参真田幸村の兄信之の息子です。飯山城で生まれ、十九歳の時参直に正受産という臨済宗の小ここで唐突ですが、北信州の飯山に正受庵という臨済宗の小ここで唐突ですが、北信州の飯山に正受庵という臨済宗の小

あなぐら禅坊主と罵られる毎日でした。しかし老人のおかげでたい膝下で八ヶ月の間参禅。それも徹底的にやられたようです。との正受老人が六十六歳の時、二十三歳の白隠がやってきまれた。越後の英巌寺で「無字」の公案で悟ったと思い込んでいた。越後の英巌寺で「無字」の公案で悟ったと思い込んでいた。越後の英巌寺で「無字」の公案で悟ったと思い込んでいた。越後の英巌寺で「無字」の公案で悟ったと思い込んでいた。越後の英巌寺で「無字」の公案で悟ったと思い込んでいた。越後の英巌寺で「無字」の公案で悟ったと思い込んでいた。越後の英巌寺で「無字」の公案で悟ったと思い込んでいた。とれて登立した。世心と表した。とれて記述の本名の様の様の表面を記述していた。しかし老人のおかげであなぐら禅坊主と罵られる毎日でした。しかし老人のおかげであるなぐら禅坊主と罵られる毎日でした。しかし老人のおかげである。

話を戻します。実は、禅センターで一年間公案に歯が立たなかった私を米国人の高弟達が導いてくれました。濡れて濡れずの心境を、教わりました。夢中になれば、身体は濡れても心はの心境を、教わりました。夢中になれば、身体は濡れても心はのお導は、難しい公案を次々に与えたものだったようです。人の指導は、難しい公案を次々に与えたものだったようです。たれば、との宗門に限らずとても有意義なことだと思います。このように公案を学んで悟りの眼を開こうとするのを、かなな世人のに、強しい公案を決なに与えたものだったようです。このように公案を学んで悟りの眼を開こうとするのを、かなませんが、臨済系と言われます。しかし、古則、公案を学がなせんが、といい、などの宗門に限らずとても有意義なことだと思います。この公案に対して多様に変化する「答え」を模索し続ける修行を、我々は軽視してはいないでしょうか。

今でも臨済宗中興の祖として崇められています。

本当のお悟りを得た原の白隠は、駿河の富士山と並び賞せられ、

んな一生を送るのかが大問題だと教えています。と思います。寿命の長い仏、短い仏、長さが問題ではない、どまたこの馬大師の公案は、自分自身の生死についての問答だ

同道の皆様、これからもよろしくお願いします。 合 掌終わりに、輪読会は私の宝物です。「更に参ぜよ三十年。」

80

ジです この紙面は皆様の思惑 を掲載するフリーペー

六教区の皆さまの声

少子高齢化と地方の消滅 佐 藤 良徳

みたいと思います。 ショッキングな事態について考えて 少子高齢化と地方の消滅という、

正直なところであります。 ろ、こんなにも早く現実のものにな ろうとは思いもよらなかったのが、 り話題にのぼり始めたが、実のとこ 少子高齢化の問題は、 大分以前よ

拍車をかけています。 現実が立ちはだかり、 親や家を思い故郷に残った若者の前 けるように、若者の地方離れが進み、 少子化の流れの中、 就職難と結婚難という厳しい 追い打ちをか 更に少子化に

> す。 涙の耕地は荒れ果て、限界集落から 断ち切らなければならないと思いま 慧と勇気をもってこの悪しき連鎖を 味をおびて来ましたが、私たちは智 在りません。諸々の負の連鎖が現実 ます。地方を滅ぼして日本の将来は 消滅集落へと事態は進み始めまし 高齢化が急激に進み、 自ずと地方人口は減少して行き 先人の汗と

るようであります。 日本人が消滅するとまで言われてい このまま放置すれば何年後かには、 ません。全国的に人口減少は進み、 人口減少は何も秋田だけではあり

るを得ません。 く国家再生のビジョンを語り始めま した現状に危機感をいだき、ようや い事態が進むなか、国も地方もこう したが、誠に遅きに失したと言わざ 地方の消滅というあってはならな

ります。 大転換をする時に来ているようであ けて、真剣に、今までにない施策の 私たちは、地方と国家の再生に向



栄昌寺 藤 秀広

を行わせて頂きました。特に話の中 師を講師にみんなで人権学習の研修 手の湯川温泉に一泊してまいりまし その代替えとして忘年会も併せて岩 て雑誌に載っている事実や、戒名そ 戒名があり、今も歴史の面白話とし いてでした。昔の他宗の戒名に差別 心は「過去帳」等の管理の徹底につ ありました。その際、香最寺國安老 したのは懐かしく郷愁を誘うもので た。昔教区でよく行った温泉に宿泊 はありましたが中止になりました。 志摩方面 当教区の本年度の研修旅行 が参加者少なく、 残念で (伊勢

のが、逆に現代の人達からは、 解釈すると素晴らしい意味合いのも とが良かったと思います。 等の管理の徹底を共通認識できたこ の研修で戒名に関する事と「過去帳」 様々な事例が話し合われました。こ の意味で誤解される戒名だったりと であったり、戒名の解釈が仏教的に のものがその時代を反映させたもの 真逆

活で毎日拝むお位牌そのものであり 弟子の証ですし、 たり前のことであります。戒名は仏 ける際、最も心を傾けている事は当 私共僧侶が、檀家さんに戒名を授 檀家さんが信仰生

> 牌第二保険証通帳印鑑類 ました。 とに今更ながら救われた気がいたし 持ち出すもの」と題して第一、お位 べ物飲み物 第四薬と書いてありま ました。それには「地震や緊急時に た時に居間の上に張り紙をしており る鈴木豊次郎さんの家に法事で行っ した。お位牌を第一に考えているこ この間、 寺の近くの檀家さんであ

ら希望を持ち続けることを大事にし 逸らさず、 絶望してもしょうがない、 も信仰は変わらない』を信念に、過 試練であります。『時代は変わって れからこそが法力が試されるまさに 幾多の困難に遭い乍らも、その時代 ければならない問題は山積みです。 過疎化、布施収人の減少、寺院の維 去を恨んでもしょうがない、未来に 寺院が存在するのだと思います。 会に適応してきたからこそ今の仏教 の歴代の僧侶が困苦を乗り越え、 て僧侶としての本分を全うしたいと しかし、仏教の長い歴史を鑑みれば、 持管理問題等々寺院として対処しな |今| という辛い現実の中でも眼を 少子高齢化、人口減少、檀家減少、 檀家さんと寄り添いなが しかし、

秋曹青広報を通じて

黄龍寺

なった広報ではありましたが、非常 力に屈するかたちで渋々務める事と のみとなりました。秋曹青会長の圧 おり、残り一回の広報誌を発行する ります。今まで三回広報を発行して いる事に最近気が付きました。 に得難く良い経験をさせてもらって 秋田曹青の広報を今期担当してお

ます。そして、その経験をうまく活 なった方がいます。時間をやり繰り 様々な経験や仕事をしてから僧侶に 験を活かせる世界は無いでしょう。 と、僧侶の世界ほど過去に培った経 感する事が出来ました。考えてみる 経験をもった方が秋田にいる事を実 が得意な方、フィールドワークが得 視で活躍している方。デスクワーク して趣味に磨きをかけている方もい 意な方。広報を通じて様々な特技や 全国的に活躍している方、地元重

> 来ました。 をしている方がいる事を知る事が出 かして布教活動やボランティア活動

態度に普段の自分を反省し刺激を受 遺族の悲しみに寄り添いたいとする しました。子供達を楽しませようと せてもらったり、考えさせられたり まはげ教室や祈りの集いなど楽しま せて頂きました。男鹿で行われたな 材を通じて秋曹青の行事にも参加さ 一生懸命になっている姿や少しでも

また普段腰の重い自分ですが、 取

ちょっとした集会があり、私も出席 の人に所有されているということで されていくのでありましょうか。 によって、今後の世界は大きく動か すが、そのわずか二割程度の人たち ところで、先日、地域の公民館で

す。

格差社会」という現実の中で

柴田 康裕

れておりましたが、一番値段が安 いのは二四八〇円、次に安いのは 店内にはすでに多くの商品が展示さ から本格的な冬を迎えるにあたり、 二四八〇円のものでした。 (長靴) を買いに行きました。これ 近くのホームセンターヘブーツ

るのだろう。」 「この千円の差は、一体どこにあ

ていて暖かそうでした。どちらにし が、確かに三四八〇円の方が、何と なく厚みを感じますし、しっかりし そう思って、両方履いてみました

> ようか迷いましたが、結局は一番安 いものを買いました。

な話でありました。 は、ほとんど想像を絶する夢のよう がら生活する私のような者にとって う、わずか千円の違いに心を配りな 倍のお金を右から左へ動かすとい うことでありましたから、その約三 が、最大でおよそ一兆八千億円とい 東京オリンピック開催にかかる費用 たという報道がされておりました。 クの社長さんが、アメリカの次期大 スを見ておりましたら、ソフトバン 統領に五兆七千億円の投資を約束し その夜、何気なくテレビのニュー

富の八割は、世界人口の約二割程度 聞くところによれば、世界全体の

平成29年度曹洞宗婦人会 東北管区研修会について

れたものだと思いますが、私は自分 りました。恐らく同じお店で購入さ ブーツと同じものが、玄関に二足あ しました。すると、私の履いている 他人様のものと間違え しっかりと名前を書き 2 1 期日 会場 人会の東北管区研修会が秋田県 ~28日 (水)

当番で、鹿角市「ホテル鹿角」 催されます。多くの皆さんのご参加 こ協力をお願い致します。 平成29年6月27日 で開 火

ホテル鹿角

込みました。

ないように、 のブーツに、

3 あい」 う 信じよう 美しい心のふれ 研修方針 スローガン 「広げよ

けました。

出来ていない多くの方がいるはずで くの方の役に立つだろうと思いま 報を共有する事が出来たらきっと多 も信念を持って活動している方がい ます。多くの才能を発掘し、その情 行事に協力したり、□数は少なくて す。社交的ではないけれど積極的に した。しかしまだ才能に気付く事が 持った方が秋田にいる事が分かりま 秋曹青広報を通じて多くの才能

お寺おやつクラブ

善福寺副住

周平

う活動の特集をやっていました。 侶は「国内で餓死があるなんて。_ ションで母子が餓死状態の遺体で見 の中のひとつに大阪市北区のマン 取り上げられることもあります。そ 見ていたら、お寺おやつクラブとい という衝撃から何かできないかと思 にします。また、給食のない夏休み に一人が貧困だというニュースを日 に体重が減る子がいるという話題が つかった事件がありました。ある僧 い、お寺おやつクラブを始めたそう 昨今、格差社会が進み子供の六人 あるテレビ番組を何気なく

援団体を通して「おすそわけ」 がり」として、全国のひとり親家庭 ができずに身近な人に食べてもらっ 子を供えます。多くのお寺で、その や経済的に貧困状況にある家庭へ支 することがあるのではないでしょう 供物を自分たちだけで食べきること たり、やむを得ず捨ててしまったり 仏様のためにたくさんの果物やお菓 か。そのご供物を仏様からの「おさ お寺では檀家さんや地域の人々が する

> のままお寺おやつクラブの活動に繋 せん。僧侶が行う日々のお勤めがそ がります。 行事やイベントを行う必要もありま 支援活動ができることです。特別な たことは、法事の際にあがる供物で のがお寺おやつクラブの活動です。 この特集を見て私が魅力的に感じ

> > 平成28年度

b

瑞宝双光章

古仲

宗賢

(男鹿保護

明石

浩延

(秋田保護区

スでした。 うか。最近の考えさせられるニュー つのきっかけになるのではないだろ 地域の方々と繋がりを強くするひと を支援するだけでなく、檀家さんや さやかれる中で若い世代の親や子供 こうした取り組みは仏教離れがさ

保護司表彰紹介



※当コーナーの掲載順は原稿到 氏名は原稿に準じました。 着順です。また、肩書きとご

秋田県保護司会連合会長表彰

菅原 (湯沢保護区 (鹿角保護区

(湯沢保護区

秋田県知事感謝状

浩二(能代保護区

祝い申しあげます。

松山 東北地方更生保護委員会委員長表彰 祖隆(本荘保護区

全国保護司連盟理事長表彰

玄悦

(大館保護区)

東北地方保護司連盟会長表彰 宗元(本荘保護区

秋田保護観察所長表彰 大智 (横手保護区

國安 (角館保護区

英和

(角館保護区

表紙の言葉

「氷の世界」 撮影日 平成28年2月4日 雨氷は珍しい気象現象である。雪が上 空で溶け雨となり、地表近くが冷え、 雨が過冷却されて水滴のまま降り、木 や地面に当たった瞬間凍りつく現象。 幹や枝に大量に着氷し倒木の原因とな 時には大きな被害をもたらすこと もある。しかしその様は四方すべて宝 石のようにきらめく。まるで氷の森の 宮殿に迷い込んだかのようである。

藤原

豊弘 徳義 高寛

(角館保護区 (大館保護区 (能代保護区 嵯峨

義房

(男鹿保護区

法務大臣表彰

道彦(本荘保護区

皆様のご受賞にあたり、 心からお

◎仏教講座・野外研修

十月十一日

)檀信徒本山研修会

十月十八日~二十一日

十月十二日

》梅花流指導者養成所

◎現職研修会

九月八日

梅花検定会

(県北)

九月十九日

九月十三日~十四日

宗 務 所 だ ょ ŋ

平成28年

山

門

法

要

○写径会・仏教講座②	九月六日	(初級者コース)	◎梅花流指導者養成所	九月二日	◎梅花流講習会
十一月十日	◎梅花検定会(中央・県南)	十一月八日	◎梅花流指導者養成所(上級)	十一月二日	◎梅花流指導者養成所(初級)

◎梅花流講習会

◎禅センター設立集会 禅を聞く会 十一月十一日

(上級者コース)

◎梅花流指導者養成所

九月七日

○写経会・仏教講座③ 十一月十六日

十一月二十八日

6月25日~

26 日

第9教区

高岳寺

本葬・晋山結制

6月10日~11日

第15教区

妙音寺

本葬

6月10日~

11 日

第4教区

永傳寺

晋山結制

6月4日

~ 5 日

第16教区

龍泉寺

晋山結制

6月3日

~ 4 日

第11教区

隆昌寺

晋山結制

5月15日~

16 日

第18教区

永安寺

本葬

◎梅花流講習会 十二月二日

◎梅花流指導者養成所(合同)

十二月六日

○宗務所寺族集会

十月四日

十月六日

》梅花流指導者養成所

)梅花流講習会

十月七日

能代・長慶寺様よりエアコン三台 申し上げます。 のご寄進をいただきました。感謝

> 教区 寺院名

日程 4 月 20 日 3月4日 ~ 5 日 21 日 第14教区 第3教区 陽山寺 永泉寺 本葬 本葬 法要

12 月 21 日 12 月 12 日 11 月 14 日 10 月 30 日 10月29日~ 10月15日 11 月 26 日 10月1日 了 15 日 ~ 2 日 13 日 30 日 16 日 第16教区 第18教区 第9教区 第7教区 第3教区 第3教区 第18教区 第16教区 曹渓寺 蔵伝寺 泉流寺 浄運寺 観音寺 倫勝寺 南翁寺 大泉寺 晋山 再会 本葬 本葬 晋山結制 晋山結制 本葬・晋山結制 落慶

一平成29年度 曹洞宗梅花流-梅花流全国奉詠大会と福井の旅

場:越前市「サンドーム福井」

大会期日:平成29年5月24日

平成29年度の梅花流全国奉詠大会は5月24日・25日の両日に亘って、越前市「サンド-ム福井」に て式典、献詠会場は「大本山永平寺」にて行われます。 この勝縁に多数のご参加をお待ち申し上げます。

○期日:平成29年5月23日(火)~5月25日(金)…2泊3日

<u>行程表</u>

月日		
70	行 程	食事
5 23	9:10 (予定時刻) 10:20 A《秋田空港集合》 秋田空港 — JAL162 →羽田空港 12:50 13:50 10:05 (予定時刻) 11:25 — JAL187 →小松空港=	× 弁
义	B県北各地=浪岡 IC =青森空港- JAL142 →羽田空港 12:50	タ
5 / 24	山代=加賀IC = 鯖江IC = 平成 29 年度 梅花流全国奉詠大会と福井の旅 = 式典会場「サンドーム福井」 = 福井北IC = 献詠会場「大本山永平寺」 =	朝弁
丞	18:00 頃 =門前=福井北 IC =若狭三方 IC =三方湖畔泊	タ
5 25 (木)	8:30 湖畔=レインボーライン:山上公園=敦賀=加賀IC=九谷焼= 19:00 (予定時刻) 20:05 14:40 15:50 羽田空港-- JAL167 -→秋田空港《到着後解散》 =小松空港ー JAL188 → 15:50 羽田空港 - JAL149 - →青森空港=浪岡IC =県北各地 18:30 (予定時刻) 19:45	朝 昼 ×

※道路事情・運輸機関(飛行機)時刻等により、コース、発着空港が変更になる場合もあります。

すめておりますので、

多くの皆様のご参加をお待ちして

、会研修会が開催され

ます。

当番宗務所として準備をす

今年、

6月には鹿角市のホテルを会場に、

東北管区

.期待を寄せるところであります。

活躍が目立ち、

新しい宗務所

布

おります。

また、

新年を迎え、

初心を忘れることのな

いよう所

皆様のご協力をお願いいたします。

以下、

職員全員協力して執務にあたるべく、

邁進して

きたいと思います。

(昭道記)

に十分対応できたか反省すべくところでありますが、 せていただきました。 より企画の難しさを実感した二年目でした。 ごや青少年教化員などの若い僧侶の 管内においては各種団体の行事や、 宗務所行事はもとより、 本庁・

管区行事と全てのこと

何

管内皆様のお陰をもちまして、 二年目を無事に過ごさ 新春のお慶びを申しあげます

編

集 後 記

語盡山雲海月情神感諸様花豆城樹間列殿碧樓明

ます。お心のこもったお言葉をいただきましおいて、ご本山でのご供養時のご法語であり二十一日の日程で行った檀信徒本山研修に二十一日の日程で行った檀信徒本山研修に

た。



仏教講座 • 野外研修 (平成 28 年 10 月 12 日)



大乗山最禅寺(湯沢市)



普門山永蔵寺 (横手市)